



宮崎ーバンングラデシュの親和性と地域国際化

主催：宮崎大学国際連携センター

後援：宮崎市、宮崎市 ICT 企業連絡協議会

自然豊かな国。世界一の人口密度。10年間の経済成長率が6%超のアジア筆頭成長国！
いま注目のバンングラデシュについて、どのくらいご存じですか？

バンングラデシュについて学びつつ、国際化する地域の将来について一緒に考えてみませんか？
産業や地域の国際化、外国人材の採用・定着などに興味・関心のある方は是非ご参加ください。

【日時】

2018年3月3日（土）13時30分～

13:00 受付

13:30 講演1「地方の国際化と日本語支援」：伊藤 健一（宮崎大学国際連携センター 准教授）

14:00 講演2「バンングラデシュの国、文化、人 -日本との親和性と受け止め方-」：

アラム モハメッド アンサルル 先生（ダッカ大学現代言語研究所 准教授/日本語学科長）

15:00 フリートーク「地域国際化とその将来像」

16:00 （終了予定）

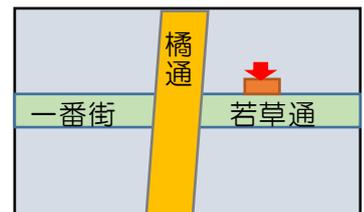
【会場】

宮崎大学まちなかキャンパス

宮崎市橘通東3丁目4-36

（橘通より若草通入ってすぐ左）

※申し訳ございませんが、お車でお越しの際は近くのコインパーキング等をご利用ください。



【お申込み】

当日のご来訪でもご参加いただけますが、できましたらウェブサイトからお申込みください。

<http://urx.cloud/lyy6>



“Digital Bangladesh”に取り組むバングラデシュではICT（情報通信技術）産業が発展し、多くの優秀な若者がICT技術者として世界に出て、GoogleやFacebookなどの世界的企業や日本でも活躍しています。近年、宮崎でもICT産業が盛り上がる中、優秀なICT技術者が熱望されることから、2017年よりJICA、宮崎市、地域IT企業、宮崎大学が連携し、バングラデシュの優秀なICT人材の宮崎への導入を進めています。今後、新しく宮崎で生活する彼/彼女らにはぜひ宮崎を好きになってもらいたい、と思う中で、そのためにまずはバングラデシュのことを知り、地域の住民として新規外国人居住者の迎え方を考えたいと思います。

そこで、バングラデシュの日本語教育を牽引するダッカ大学のアラム先生をお招きして、バングラデシュの文化や人、在日バングラデシュ人事情などについて教えていただきたいと思います。

講演後、フリートークを行います。皆様のご意見などお聞かせいただけたら幸いです。

なお、講演もフリートークも日本語ですので、ご安心して、お気軽にご参加ください。

【講師紹介】

アラム モハメッド アンサルル 先生（日本語教育学博士）

ダッカ大学 現代言語研究所 准教授 バングラデシュ日本語教師会 会長
バングラデシュ、チッタゴン出身

専門：日本語教育

履歴：2000年 ダッカ大学卒業（国際関係学）

2004年 政策研究大学院大学-国際交流基金日本語国際センター連携大学院 修士（日本語教育学）

2007年 海外日本語教師上級研修

2011年 文部科学省国費留学生として来日（日本語教育ではバングラデシュ人初）

2013年～NHK Radio Japan Bengali Section アナウンサー

2015年 政策研究大学院大学-国際交流基金日本語国際センター連携大学院 博士（日本語教育学）

2016年～バングラデシュ日本語教師会 設立（会長）

2016年～ダッカ大学に学士号取得コース（バングラデシュ初、日本語の学位が取得できる学科）を設置

日本での講演・活動：

- ・ 「バングラデシュの社会・生活事情&日本との関わり合い」講演、2016年
- ・ 「インタビュー調査から見た在日バングラデシュ人の人間関係構築—日本語学校の学生のアルバイトにまつわるエピソードに注目して—」日本言語文化研究会論集 第12号、2016年
- ・ 「在日バングラデシュ人の日本語使用実感と社会的関係の構築—バングラデシュの日本語教育の改善を目指した政策への提言—」日本言語文化研究会論集 第11号、2015年

【お問い合わせ先】

宮崎大学国際連携センター 伊藤 健一

Email: itoken@cc.miyazaki-u.ac.jp

